

**7月11日**  
**個人住民税の収確保を目指して  
 道職員の高野さんが短期併任で着任**



辞令を受け取る高野さん

個人住民税に係る道職員短期併任制度により、釧路総合振興局地域政策部納税課主幹の高野洋文さんが本町の税務課に配属になりました。辞令交付式は7月11日、役場で、徳永町長から辞令が手渡されました。

同制度は、道税に占める割合の高い個人住民税の収確保が強く求められていることから、平成16年度に始まった制度です。道職員が期間を定めて市町村職員を併任し、市町村の税務職員と協働で税務事務を行うもので、釧路総合振興局管内では今年度、標茶町でも実施しています。高野さんは7月1日から平成24年3月31日まで毎月2回、本町職員として滞納整理事務などを行います。

**7月7・8日**  
**小さい子どもたちがわいわいね  
 川湯中生徒が保育体験**



図書館で本を選ぶお手伝い

川湯中学校(辻川尚志校長)の3年生6人が7月7日から8日にかけて、おひさま保育園(清水節子園長)で保育体験を行いました。

総合的な学習の一環として、毎年行っています。生徒は各クラスに分かれて入り、一緒に外遊びや散歩を行ったり、給食やお昼寝のお手伝いをしたりして、園児と触れ合いました。体験の終わりには「大変だけど、子どもはかわいい」などの声が聞かれました。

**カメラスケッチ**  
**広報マンが行く!!**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

**6月24日**  
**不法投棄やポイ捨てから自然環境を守ろう  
 自然の番人宣言推進委員会事務局会議**



自然環境保全の方策を協議

平成23年度第1回自然の番人宣言推進委員会事務局会議が6月24日、役場で行われました。

自然の番人宣言は、廃棄物の不法投棄やポイ捨てなどから貴重な自然環境を守り、将来に継承することを目的に、2006年に釧路管内全8市町村共同で行ったものです。会議には各市町村の担当者など17人が出席。昨年度の事業内容や今年度の事業計画などが報告されました。今年度は新たに、環境教育の観点から小・中学生を対象とした啓発ポスターや標語コンクールなどを行うこととしています。

**7月14日**  
**自然環境の保護・保全、美化活動などに尽力  
 小泉裕さんが北海道社会貢献賞を受賞**



表彰状を受け取る小泉さん

小泉裕さん(59歳・川湯温泉2)が、自然保護功労者として北海道社会貢献賞を受賞しました。表彰式は7月14日、役場で行われ、釧路総合振興局保健環境部の増本弘次部長から小泉さんに表彰状が手渡されました。

同賞は、自然保護や野生鳥獣保護などの実践活動に功績のあった個人や団体を表彰するものです。小泉さんは、自然保護監視員として25年にわたり、巡視活動や記念樹木の保全などのほか、自然公園内の草刈りやごみの収集などの美化活動を行ってきました。また、自然保護思想の普及啓発にも貢献したとして、今回の受賞となりました。

**7月12日**  
**公共交通活性化・再生総合事業を評価  
 地域公共交通活性化協議会が国交省の優良団体に**



表彰状を受け取る小磯会長

弟子屈町地域公共交通活性化協議会(会長・小磯修二釧路公立大学長)が、国土交通省が行う平成23年度地域公共交通活性化・再生優良団体表彰を受賞しました。

表彰式は7月12日、東京都の同省会議室で行われ、近藤昭一環境副大臣から小磯会長に表彰状が手渡されました。同表彰は、地域公共交通の活性化や再生に功績のあった団体を大臣が表彰するもので、今年度は全国から5団体が受賞しました。同協議会は、弟子屈2daysえこパスポートの活用などを通じて、公共交通機関の利便性向上と環境に優しいまちづくり、滞在型観光促進による地域活性化を推進したことが高く評価され、今回の受賞となりました。

**6月29日**  
**花を育てて思いやりの心を養って  
 弟子屈小学校で「人権の花」を植栽**



元気に育つようお願いを込めて

釧路人権擁護委員協議会主催の平成23年度人権の花運動が今年も行われ、弟子屈小学校(伊藤新一校長)に人権の花が贈呈されました。

人権の花運動は、子どもたちの情操を豊かにし、思いやりの心を育むことを目的に行われています。今年度は釧路管内から弟子屈小学校を含む2校が選ばれ、同協議会から花の苗が送られました。贈呈式は6月29日に同校で行われ、4年生の児童が代表して苗を受け取りました。その後、人権擁護委員の皆さんと一緒に学校前の花壇に苗の植栽を行いました。

**6月26日**  
**花いっぱいのに  
 日の出自治会の皆さんが花壇を整備**



丁寧に花の苗を植え込む皆さん

日の出自治会の皆さんが6月26日、国道391号から摩周駅前に向かう交差点の

ロータリーで花壇整備を行いました。花いっぱい運動の一環として毎年行っています。青空の下、サルビアやマリーゴールドなどを手分けして丁寧に植えていました。

**7月20日**  
**松浦武四郎を通じた交流が縁で  
 三重県松阪市の山中市長が来町**



役場職員の歓迎を受け山中市長

幕末の探検家で「北海道」の名付け親として知られる松浦武四郎の生地、三重県松阪市の山中光茂市長が7月20日、役場を訪れました。

同じく武四郎が縁で招待された上川管内中川町のカヌーイベント参加のため来道し、弟子屈町も訪れたもの。武四郎がたどったとされる摩周湖や硫黄山、屈斜路コタンなどを回りました。近年、弟子屈町と松阪市は、武四郎を通じて児童が交流するなどしており、山中市長は「両市町のさらなる交流と連携の輪を広げていきたい」と話していました。

**7月16日**  
**親水性のある憩いの場と災害時の避難場所に  
 摩周温泉公園がオープン**



オープンを祝ってテープカット

昨年の10月から整備が進められていた摩周温泉公園がこのほど完成し、落成記念式典が7月16日に行われました。式典には徳永町長や八幡町議会議長、本田幸一釧路開発建設部長、野田口昌明湯の島自治会長などが出席。テープカットでオープンを祝いました。

同公園は面積7,741.96㎡。2003年に閉院した国立弟子屈病院跡地に整備されました。釧路川を親水性のある憩いの場にしたいという要望を受け、2008年に釧路開発建設部協力の下、釧路川緩傾斜護岸を整備。昨年度からは、災害時の一時避難場所や取水場などの防災機能も備えた公園として整備を進め、今回のオープンとなりました。

**7月2日**  
**川下りで地元の自然の素晴らしさを再確認  
 カヌーガイドによるリバーフェス**



釧路川源流部をカヌーで満喫

釧路川リバーフェス'11(同実行委員会(土田祐也実行委員長)主催)が7月2日、釧路川源流部で開催されました。

町の皆さんに地元の素晴らしい自然を体験してほしいと、町内のカヌーガイドの皆さんによって開催されているもので、今年で3回目です。今年度は東日本大震災のチャリティイベントとして開催され、町民の皆さん84人が参加。カヌーで屈斜路湖を出発し、約3キロの釧路川下りを楽しみました。参加費の大部分と会場で寄せられた募金合わせて78,773円が、義援金として日本赤十字社を通して寄付されました。

**6月29日**  
**豊かな川にしたい  
 釧路川にヤマメを放流**



大きくなってねと声をかけながら

釧路・リバープロジェクト・21の会(上田光夫会長)主催によるヤマメの稚魚の放流が6月29日、旧国立病院跡地近くの釧路川護岸で行われました。

魚類資源の回復のために毎年行っているもので、釧路開発建設部釧路河川事務所や町、会員など関係者約50人が参加。弟子屈小学校(伊藤新一校長)の3・4年生の児童100人も招待され、体長5センチほどのヤマメ約1,500匹が放流されました。会長の上田さんは「将来的には、いつでもヤマメが見られて、釣りが楽しめる川にしたい」と話していました。